

ドイツ・チューリンゲン州イエナ地域との産業交流

「世界に通じる、世界が注目するオプトロニクスクラスター」の創成に向けて、国内外他地域との広域産学官連携を推進しています。

特に、世界的光学機器メーカーが集積するドイツ・イエナ地域との連携については、独立行政法人日本貿易振興機構(以下JETRO)の支援を受け、経済産業省「地域企業立地促進等事業費補助金(地域中小企業販路開拓支援事業)」を活用し相互の技術(強み)を融合する相補完的なWIN-WIN連携を目指し、産業交流を進めています。

チューリンゲン州 (Freistaat Thüringen)

・州	都	エアフルト	
・面	積	16,200 km ²	
・人	口	230万人	
・主要	都市	エアフルト	203,000人
		イエナ	103,000人
		ゲーラ	102,000人
		ワイマール	65,000人

	1991年	2008年
GDP	2兆2,360億円	6兆4,740億円
売上(工業)	8,320億円	3兆5,230億円
輸出(工業)	1,430億円	1兆1,570億円



イエナ (Jena)

イエナ地域の特徴

- ① Carl Zeiss Jena社、Jenoptik社等世界的光学機器メーカーの集積地である。
- ② 大学(フリードリヒ・シラー大学、イエナ応用科学大学等)、公設試(フラウンホーファー研究所、イエナ光子技術研究所等)、企業による産学連携が盛んな地域である。
- ③ イエナ地域という地理的範囲内でのオープンイノベーションにより、企業規模に囚われないネットワークが形成されている。



平成18年度から開始した連携の成果として、平成20年10月には、チューリンゲン州首相をはじめ、イエナ地域企業が浜松を訪れ、共同による新製品・新技術の開発等、連携をより一層深めることを目的に『日独オプトロニクスシンポジウム』を開催し、平成23年3月には、両地域の大学、研究機関、企業の情報を共有する事を目的に「チューリンゲン州-浜松オプトロニクスシンポジウム2011」を開催しました。

また、この国境を越えた産業交流を本格化(持続化かつ自立化)するため、両地域の産業支援機関である(財)浜松地域テクノポリス推進機構、オプトネット協会、チューリンゲン州経済振興協会の3者が平成22年3月2日に「産業交流協定」を締結し、両地域の企業による商談・販路共有のための相互訪問ミッションを実施しています。

今後は…

- ① 大学、企業、研究機関の研究者の交流
- ② 技術、企業、販路情報の共有
- ③ コーディネータ、事務職員の交流
- ④ その他産業交流活動

を実施し、国際連携による光・電子産業の振興を図っていきます。